

# 議 会 だ よ り

まるもり

Miyagi Prefecture  
Marumori Town Assembly  
News

第 249 号



2019. OCT  
令和元年10月17日

発行 宮城県丸森町議会  
編集 議会広報常任委員会

台風19号で被災  
された町民の皆様  
に心よりお見舞い  
申し上げます。  
一日も早い復旧  
に向け、議会は町  
と一体となり最大  
限の努力をします。

## 9月議会

台風19号で未曾有の被害 .....	2ページ
伊具高校生との議会懇談会 .....	4ページ
<b>一般質問</b> 8名の議員が町政を問う .....	15ページ



まあるい森の里からこんにちは



# 未曾有の被害



災害ゴミで満杯になった金山小学校（金山地区）



土石流で埋まった住宅・農地・川（丸森地区）



濁流で破壊された橋（大内地区）



崩落した川沿いの県道（筆甫地区）



# 台風19号で



自衛隊による入浴支援（館矢間地区）



稲わらで埋めつくされた田んぼ（小斎地区）



校庭全面に竹林が崩落した耕野小学校（耕野地区）



沢尻棚田に通じる町道（大張地区）



# まちづくりを考えました

## 生徒と議員との懇談会2019



賑わいと笑顔あふれる元気な町など提言

7月17日に今年度2回目の議会懇談会を昨年を引き続き、伊具高校で開催しました。

懇談会は、「住みたい町を創るワークショップ」を創るワークショップ「伊具高校」と題して二年生から選抜された生徒28名と議員と一緒に「自分が住みたいまちは、どんなまち」をテーマに考えました。

懇談会の形式は、生徒と議員が7グループに分かれワークショップ方式で活発な意見交換を行いました。

生徒と議員は話し合いながら、自分の意見や思いを書き出した後、各グループの意見として模造紙に書き込み、発表しました。

普段、話す機会が少ない高校生から懇談会を通じて聞いた様々な意見は、今後のまちづくりに反映できるような議会としても努力していきます。

### テーマ

「自分が住みたいまちは、どんなまち」

### サブテーマ

- ①あなたが町長だったら、どんな町にしたいですか。
- ②将来、地元に住むには何が必要だと思いますか。
- ③地域のためにあなたができることは何ですか。

### 話し合い結果

#### ①あなたが町長だったら

◇人と人とのつながりや若者と高齢者が助け合い協力し合い、地域を盛り上げる。

◇賑わいと笑顔あふれる元気な町、暮らしやすい元気な町、住みよい丸森を目指す！  
他

# 伊具高校生と一緒に

## ② 将来、地元に住むには

◇これからのことを考えて、若い世代から高齢者まで、安全で楽しく過ごしやすい交流やまちづくりが必要。

◇人が暮らしていくために必要なもの、スーパー、郵便局、コンビニ、娯楽施設、道路などを整備する。

## ③ 地域のためにできること

◇協働のまちづくりに参加する。

◇人に直接できるようなボランティアをする。

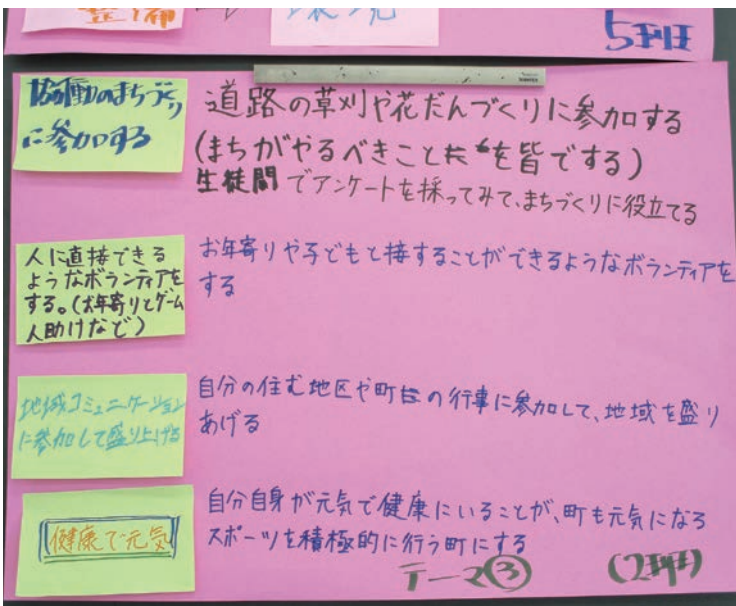
◇地域コミュニケーションに参加して盛り上げる。  
◇町を宣伝する方法を考える。

## 伊具高校生からの感想

◇町についてここまで深く考えることはなかったの  
で、町への関心が深まった。

◇今回の話し合いで出た意見を取り入れて住みやすい町をつくってほしい。

◇このような機会をたくさんつくっていくことで、交流ができ新しい意見が生まれて地域ともしっかり交流がしたいと思えるようになる。





# 平成最後の決算を審議

## 9月議会のあらまし

9月議会定例会は、9月3日から13日まで11日間の日程で開催しました。議会では、平成30年度各種会計決算の審査や、副町長の選任・教育委員任命の同意、条例の一部改正、補正予算案などの議案が提案されました。慎重審議の結果、町長提案の議案を、すべて原案どおり可決しました。

一般質問には8人の議員が登壇し、人口減少対策、金山工場団地造成計画、地域商社事業の推進、働き方改革などについて議員自らの考えを町長にたしなながら、活発な議論が行われました。

## 総括質疑では8人の議員が質問に立ち、財源の確保や経費削減などの財政運営、病院の経営改善、小学校の再編など、決算全般にわたる町政運営の質疑を行いました。

議会最終日に、決算審査特別委員長から、決算を認定する報告があり可決しました。

審査の過程で上がった要望事項は議員発議で町に提出しました。

また、国道349号整備促進に係る調査特別委員長から調査報告と、「丸森町議会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例」を議員発議で制定しました。

## 人事

副町長選任の議案を、議長を除く議員13名による投票で行い、賛成12票、反対1票で同意することに決まりました。

また、教育委員選任の議案は全会一致で同意しました。

## ◇副町長(新任)

丸森町木沼字堀内

佐々木 秀 之さん

(令和元年9月15日

から4年間)



## ◇教育委員(再任)

金山字下片山

水沼 智 恵さん

(令和元年10月1日

から4年間)



## 条例

### 丸森町森林環境譲与 税基金条例を制定

今年度から、単年度ごとに国から町に対して森林環境譲与税が譲与されます。

この譲与税を積み立てる基金を創設し、これを財源として計画的に森林整備等を推し進めるために制定された条例です。

### 丸森町保育所の設置及び管理に関する条例・丸森町第2子以降の児童に係る保育料の免除又は助成に関する条例の一部を改正する条例を制定

子ども・子育て支援法の一部が改正され、令和元年10月から3〜5歳児と、住民税非課税世帯の0〜2歳児を対象とした幼児教育・保育の無償化制度が始まりました。

本町では、この法律により新たに保護者の負担となってしまう第2子以降の3〜5歳児の副食費も、保育料に合わせて無料とする条例改正を行いました。

## 主な補正予算

### 防火水槽設置事業補助金に 310万円

防火条件が悪い区域で火災が起きたときに被害を最小限に抑えるため、防火水槽を設置しようとする団体に対して、設置工事経費を補助するための予算です。



初期消火のための防火水槽（筆甫地区）

### コンビニ収納サービスの 運用に 25万円

町税等の納付書をコンビニで取り扱いできるようにするための予算です。  
令和2年1月以降に発行する町税等の納付書がコンビニでも取り扱いできるようになります。  
また、令和2年4月から、上下水道使用料や放課後児童クラブ利用料も納付できるようにする予定です。

### 齋理屋敷隣接地建物解体に 382万円

平成29年2月に寄附された齋理屋敷隣接地を、今後の町観光に有効活用するため、既存建物の解体と整地を行う予算です。  
活用方法については、齋理屋敷との一体的な活用等を目指し、十分な検討を進めていきます。

### あぶくま荘建替方針検討に 328万円

PPP・PFI※等での建替等実施方針検討のための業務委託料です。

※PPP：公民が連携して公共サービスの提供を行う手法  
※PFI：公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う手法

## 報告

### 国道349号整備促進に係る調査特別委員会 調査結果報告

平成30年3月定例会で特別委員会が設置されてから、これまで6回の委員会を開催し、宮城県と宮城県議会の動きや町の整備要望状況等について調査を行ってきました。

その結果を受け、国道349号は重要な役割を持つ幹線道路であるとして、国直轄による早期の整備促進について要望活動を行いました。



寄附された齋理屋敷隣接地



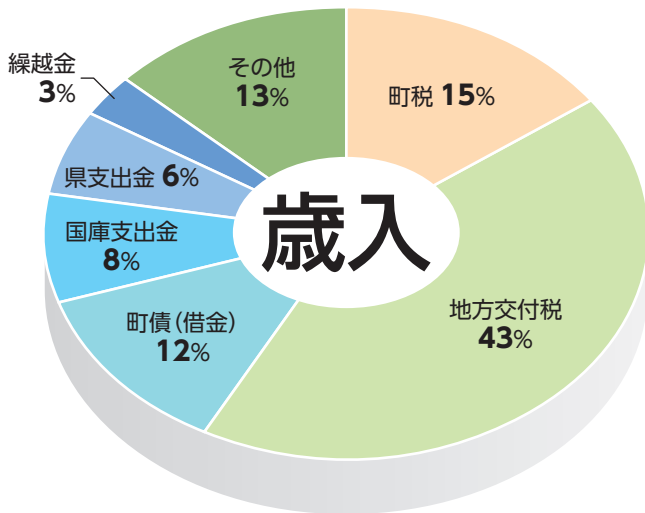
# 平成30年度 決算を認定

## 決算の審議結果

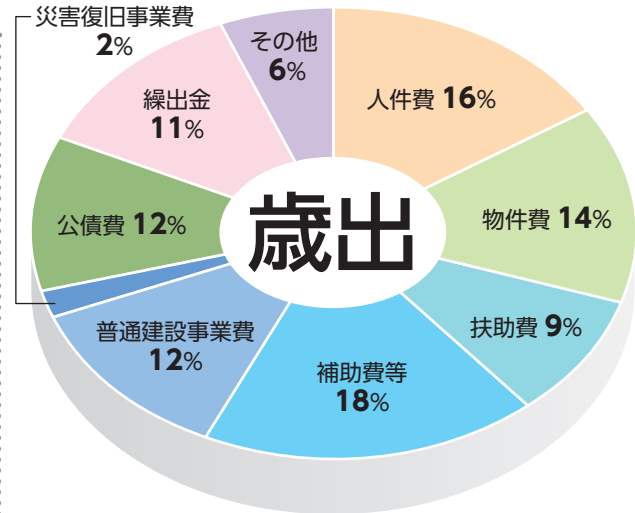
町長から一般会計、国民健康保険特別会計など7つの特別会計、丸森町病院事業会計、丸森町水道事業会計の合計10件の平成30年度歳入歳出決算の認定が提案されました。

議会では、決算審査特別委員会において詳細に審査を行い、本会議で採決の結果、いずれの決算も認定しました。

## 一般会計決算はこうなりました



町税	12億6,475万円
地方交付税	36億9,149万円
町債(借金)	9億9,259万円
国庫支出金	7億3,238万円
県支出金	5億2,922万円
繰越金	2億8,365万円
その他	11億6,772万円
<b>計</b>	<b>86億6,180万円</b>



人件費	13億 748万円
物件費(委託料、物品購入費等)	11億5,769万円
扶助費(児童手当、医療費助成等)	7億 67万円
補助費等	14億4,289万円
普通建設事業費	10億1,841万円
災害復旧事業費	1億2,160万円
公債費(借金返済)	9億3,769万円
繰出金(他会計への支出)	9億9,880万円
その他	5億4,161万円
<b>計</b>	<b>82億2,684万円</b>

歳入歳出差引額 **4億3,496万円**

令和元年度事業への繰越金 1億1,195万円 (使途が決まっている繰越金)  
 財政調整基金へ積立金 1億7,000万円 (財源を調整するための積立金)  
 令和元年度への純繰越金 1億5,301万円

会計名	30年度	29年度	伸び率	
一般会計	82億2,684万円	81億1,445万円	1.4%	
特別会計	国民健康保険	16億3,689万円	18億1,820万円	▲10.0%
	後期高齢者医療	1億6,545万円	1億6,133万円	2.6%
	介護保険	18億5,263万円	17億5,930万円	5.3%
	宅地造成事業	518万円	522万円	▲0.8%
	公共下水道事業	3億7,478万円	3億4,091万円	9.9%
	工場団地造成事業	58万円	36万円	61.1%
	農業集落排水事業	9,351万円	9,886万円	▲5.4%
	小計	41億2,902万円	41億8,418万円	▲1.3%
計	123億5,586万円	122億9,863万円	0.5%	

病院事業会計			
収益的支出	11億4,064万円	11億2,357万円	1.5%
資本的支出	1億6,665万円	1億3,867万円	20.2%
水道事業会計			
収益的支出	3億3,094万円	3億3,561万円	▲1.4%
資本的支出	6億2,286万円	3億2,064万円	94.3%

決算額の比較(支出)

※収益的支出とは、人件費や材料費など業務運営に係る支出。

※資本的支出とは、工事費や過去の建設工事のために借り入れたお金の返済など財産に係る支出。



# まちづくりへの要望

## 平成30年度各種会計決算に関する要望



小学校再編統合住民説明会（耕野まちづくりセンター）

## 小学校再編計画を 早期に示せ

所管事務調査、決算審査で出された要望事項を取りまとめ、議会として9項目を町長に要望しました。

- 1 納付環境の整備及び収納体制を強化することにより、一層の収納率向上に努めること。
- 2 次期丸森町まち・ひと・しごと創生総合戦略の計画策定にあたっては、交流・関係人口の拡充により、移住定住の増加につながる施策を積極的に採り入れること。
- 3 ふるさと納税制度は、自主財源の確保はもとより、町内地場産業等の活性化に大きく寄与するよう、創意工夫を凝らし積極的に進めること。
- 4 民間に委託が予定されている放課後児童健全育成事業の実施にあたっては、さらなる質の向上と機能の充実を図ること。
- 5 厳しい財務状況にある丸森病院は、運営方針を早期に見直し経営の健全化に努めること。
- 6 子牛育成センターの運営は、町営放牧場との連携を密にした管理体制の充実を図り、利用拡大と畜産振興につながるよう取り組むこと。
- 7 あぶくま荘の改築事業は、サウンディング型市場調査等を参考にし、町民福祉並びに観光振興につながるよう早期に決定すること。
- 8 町営住宅管理計画を再考し、適正な戸数確保と保全を徹底すること。
- 9 校舎活用も含めた小学校再編計画を早期に示し、住民の理解を深めること。

# 証 検

# 町の仕事

## 決算審査特別委員会

会期中5日間にわたり、町長、副町長、教育長及び担当課長等の出席を求め、平成30年度の決算審査を行いました。質疑の一部を要約してお知らせします。

### 消防団の確保を

問 消防団員の定年延長、及び町職員等に対する入団促進に取り組むべきではないか。

答 団員の定年延長は検討している。

また、現在町職員の団員は6名いるが、さらに勧誘を行い、団員の確保を図っていく。

### 移住定住の促進体制は

問 移住・定住サポートセンターの業務を効率的に進める体制の整備は図られているのか。

答 今後、2名の採用を予定している。

移住定住の促進に向け、人材育成及び職務遂行能力等を高め、円滑な業務推進に努めていく。

### あぶくま荘の改築方針は

問 サウンディング型市場調査の結果を踏まえ、あぶくま荘の建て替え等における方針決定はいつになるのか。

答 民間企業による設計や施工、及びPFI事業導入等を検討し、施設の管理運営も含め、今年度中に方針を示す。

### 学力向上への効果は

問 学習支援を行う学び支援コーディネーターの配置事業は、子ども達の学力向上につながったか。

答 この事業は、児童や生徒の家庭学習の習慣化を目指している。自ら学ぶ子どもを育てる意味で効果的である。



全町ポンプ車の放水訓練



土曜学び塾の様子



## サルの被害対策は

**問** サルの捕獲・被害対策は、広域的な取り組みを行うべきではないか。

**答** 宮城、山形、福島県の12市7町などで構成する南奥羽鳥獣被害防止対策協議会に本町も加入し、サルの追い払い等を広域的に進めている。



サルを集団捕獲する大型の檻（大内地区）

## 協力隊定住の方向性は

**問** 地域おこし協力隊は、任期終了後町に定住するビジョンを持って活動しているのか。

**答** 協力隊員は、定住を前提に、5年後のビジョンシートを作成し、地域と連携しながら、地域の活性化や起業を目指し活動を進めている。

## ブランド米の販路は

**問** 平成30年産のブランド米「いざ初陣」の販売先は、主に仙台市内の百貨店やふるさと納税の返礼品などであったが、今後の販路は。

**答** 首都圏への販路開拓を進め、インターネット販売にもさらに力を入れて取り組んでいく。

## 保健師の職場環境は

**問** 保健師の業務負担や労働時間等の面から、働きやすい職場環境は整っているのか。

**答** 保健師の業務負担は増加している。必要人数を確保し、効率的な業務執行を進め、さらに良好な職場環境の整備に努める。



いきいき健康講座（耕野地区）

# 厳しく審査

決算認定に関連した総括質疑(本会議)の中から取り上げました



厳しい経営が続く丸森病院

## 財政調整基金の残高は

**問** 決算剰余金の一部を積み立てる、今年度末の基金残高見込みと令和2年度当初予算の財源は。

**答** 決算剰余金からの1億7000万円の積み立てと、今年度予算の不用額等を積み立て、8億から9億円を見込んでいますので、基金を財源として充当し、予算編成を行う。

## 病院への繰出し続けるのか

**問** 町の厳しい財政から、平成30年度も丸森病院に3億3000万円を繰り出したが、今後も続けるのか。

**答** 病院の運営状況等を考慮すると町民の健康保持のためには、現段階では必要と思っている。病院の安定経営、運営にさらに努める。

## 水道料金値下げはあるか

**問** 平成30年度水道事業は、純利益5700万円で、繰越利益剰余金は2億1900万円程ある。水道料金の改定の考えは。

**答** 現在の料金でも、人口減少が要因して、令和7年度には赤字になるので、現行の料金を維持する。

## 納税組合を大切にすべし

**問** 過去10年で65納税組合が解散し、納税者の組合加入率も36%である。組合減少は収納に重大な影響を及ぼす。存続を指導するべきではないか。

**答** 様々な収納率向上対策とあわせて、納税組合の研修会などを継続して実施し育成と存続について努めていく。



大内地区他に給水する黒佐野浄水場



# 行財政運営を

## 文化財の保存と伝承は

**問** 町で把握している文化財と、個人所有等で把握していない文化財を、どう保護し伝承するのか。

**答** 把握している文化財は、観光との連携を深めて保存伝承し、さらにいろいろな形の活用を検討する。把握していない文化財は町広報で情報提供を呼びかけている。

## 教員の英語指導力は

**問** 小学校の英語教育で教員全員にタブレットを配備したが、指導力の向上が図られているか。

**答** 全小学校3年生以上の指導には、学級担任に加え英語専科教員とALTが入り、充実した英語教育ができていると言える。



個人で保管している古文書

## 子育て日本一の評価は

**問** 町長3期目の初年度となる平成30年度の子育て支援日本一の自己評価は。

**答** 若い方々に経済的負担をかけず、子どもらが心身共に健全で成長できる環境を見出し出したい思いで進めてきた。結果が伴わないとも感じるが、思いは変わらず今後も進めていきたい。

## 監査意見書への対応は

**問** あぶくま荘については町財政に過度の負担をかけない範囲で施設の改築・運営方法を検討すべきとあるが、検討したのか。


**答** 全体事業費の圧縮や従来の指定管理の方法・収益が上がる経営方法等、意見書にある財政負担にならないように今後庁舎内で検討する。



タブレットを用いた授業（館矢間小学校3年生）

# 令和元年 第5回議会定例会

## 議案一覧

9月定例議会ではすべての議案等を全員賛成により  しました。

報告 6	平成30年度健全化判断比率について
報告 7	平成30年度資金不足比率について
議案41	副町長の選任につき同意を求めることについて
議案42	丸森町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて
議案43	丸森町森林環境譲与税基金条例制定について
議案44	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例制定について
議案45	丸森町保育所の設置及び管理に関する条例及び丸森町第2子以降の児童に係る保育料の免除又は助成に関する条例の一部を改正する条例制定について
議案46	丸森町心身障害者医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例制定について
議案47	災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例制定について
議案48	損害賠償に関する和解について
認定 1	平成30年度丸森町一般会計歳入歳出決算の認定について
認定 2	平成30年度丸森町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について
認定 3	平成30年度丸森町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
認定 4	平成30年度丸森町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について
認定 5	平成30年度丸森町宅地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定について
認定 6	平成30年度丸森町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
認定 7	平成30年度丸森町工場団地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定について
認定 8	平成30年度丸森町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について
認定 9	平成30年度丸森町病院事業会計決算の認定について
認定10	平成30年度丸森町水道事業会計利益の処分及び決算の認定について
発議 3	平成30年度丸森町各種会計決算に関する要望決議
議案49	財産の取得について
議案50	令和元年度丸森町一般会計補正予算（第3号）
議案51	令和元年度丸森町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
議案52	令和元年度丸森町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
議案53	令和元年度丸森町介護保険特別会計補正予算（第2号）
議案54	令和元年度丸森町宅地造成事業特別会計補正予算（第1号）
議案55	令和元年度丸森町公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）
議案56	令和元年度丸森町工場団地造成事業特別会計補正予算（第1号）
議案57	令和元年度丸森町農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）
議案58	令和元年度丸森町水道事業会計補正予算（第1号）
発議 4	丸森町議会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例制定について



# 一般質問 町政を問う

一般質問とは、町長に対して事務の執行状況や将来に向けての考えをたずぬるものです。  
今回は8人の議員が質問しました。

頁	議 員	質 問 事 項
16	宮 本 昭 雄 議員	●浄化槽で水質向上を
17	石 井 央 議員	●人口減少対策は
18	鈴 木 美智子 議員	●文化財の更なる観光活用を
19	板 橋 勇 議員	●金山工場団地造成計画は
20	船 山 俊 一 議員	●地域商社で地方創生を
21	佐 藤 吉 市 議員	●働き方改革について
22	大 槻 正 儀 議員	●原動力づくり進めよ
23	一 條 己 議員	●あったかなまちづくり



# 浄化槽で水質向上を

## 町長 環境改善意識を高める



みやもと 昭雄 議員

美しい水と緑は多くの町民の誇りだ。

苦情も聞かれる生活排水を浄化し、きれいな水環境を後世につなげるための提案をして町長の考えを問う。

**問①** 町内調査地点での阿武隈川の水質は岩沼などと比べて悪いデータだ。

要因をどう分析しているか。また改善策は何か。

**答①** 阿武隈川の水質調査では、他の観測地点と比べて本町の数値は高いが、国の定める環境基準内である。

本町流域の数値が高いのは汚水処理率が低いことが要因と考えており、ゴミの



輝く清流を残そう

適正な処理を指導するなど環境改善の意識を更に喚起したい。

**問②** 浄化槽台帳整備と保全指導の実態は。

**答②** 下水道や農業集落排水区域以外の地域で合併処理

浄化槽での水洗化は38%と低い。

設置家庭の状況は台帳を整備して法律の規定による管理徹底指導を行っている。

**問③** 単独処理浄化槽設置世帯のうち、老朽化などで不

適切処理につながっているものはないか。今後どう改善指導する考えか。

**答③** 現在町内の433世帯が単独処理浄化槽を設置している。

今後合併処理浄化槽への切り替えの必要性を周知し設置を促していく。

**問④** 「合併処理浄化槽促進条例」を制定し、設置促進を図り、町内河川等の水質向上につなげるべきだと考えるがどうか。また設置のための補助制度を強化する考えはないか。

**答④** 合併処理浄化槽設置の補助金は仙南地区では最高の額となっており、制度を広く周知して設置を促す。

設置促進条例を定めることは他市町村の状況も参考にして検討する。

家庭のトイレ改修などの助成制度は、今までの下水対策との整合性からも難しいと考える。



# 人口減少対策は

## 町長 歯止め掛からず



いししい 石井  
ひさし 議員 央

本町の30年後の人口は6231人と推計され、急激な減少は町税や地方交付税などの財政に深刻な影となり、高齢化の進展は社会保障関連連費の増加を招き、財政硬直化の要因と考える。

**問①** 将来人口減少による影響をどう見ているか問う。

**答①** 財政力低下による行政サービス水準引き下げの懸念や、集落機能の維持が困難な地域の増加など、まちづくりの進め方も見直さざるを得ないと考える。

**問②** 町の人口減少課題に効果的、有効な施策は何か。

**答②** 長期的な視点と、移住定住の促進によって、どのようなまちづくりを目指すかというビジョンが求められている。議会からもアイデアや力添えをいただきたい。

**問③** 国は、次期まち・ひと・しごと創生総合戦略の方向性などを検討中だが、町の第1期創生総合戦略の検証と、成果を問う。

**答③** 各課で取り組んだ事業や施策の評価まで終了しており、重要業績評価指標6項目のほか、具体的な施策評価指標52項目の達成率は88%の結果だった。

住民所得に影響する指標の未達や急激な人口減少に歯止めが掛からず、一層強化する必要があると考える。地域おこし協力隊の活動やGM7の事業展開により、地域で何かに挑戦しようとする機運が醸成されていることを成果と捉えている。

**問④** 地域基盤を担う人材と組織の育成は、地元県立高校への取り組み強化が重要と考えるがいかがか。

**答④** 伊具高校は、町の様々な活動に参加、地域との関わりを重点的教育方針としている。今年度は地域を担う人材の育成と郷土愛を醸成するため「伊具高校まちづくりゼミ」を実施、15名が参加し、終了時には報告会を予定している。



伊具高校まちづくりゼミ

# 文化財の更なる観光活用を

## 町長 猫碑の町を効果的に宣伝



鈴木美智子 議員

観光や街並みに文化財を活かした町づくりについて提案をしながら町長に問う。

**問①** 齋理屋敷に隣接する寄附された土地をどう活用するのか。

外国人観光客も視野に入られて、齋理屋敷の建物を大規模改修するか、寄附された土地に大正口マンを模した住居を建築して、民泊に取り組んでどうか。

**答①** 寄附された建物の解体と土地の整地を行う予定である。

財政的な負担を伴う新たな施設の整備や大規模改修等は難しい。



微笑んでいるような猫碑（細内観音堂・百々石公園入口）

観光ニーズの変化に対応した魅力的な観光施設となるよう、寄附された土地を含めた一体的な活用に向け十分な検討を進める。

**問②** 商工会から神明社までの県道に面した建物の外観

を、齋理屋敷と旧丸森郵便局の外観と一体化させた街並みをつくってはどうか。助成金を含めた景観条例を制定し、通りの活気につながる魅力的な街並みがくれるのではないか。

**答②** 空き店舗等の解消を第

一の目標として取り組みを進め、補助金利用や店舗等改修の折には景観配慮の声掛けをしながら、美しい街並みに近づこう努める。景観条例の制定は、今後の課題として研究する。

**問③** 通称を猫碑町にして国内外にアピールし、猫にターゲットを絞り、猫カフェや猫島、猫町などに情報発信して観光客回遊などの協定を結ぶ集客策も取り入れてはどうか。

**答③** 猫碑は国内外の多くの方に興味を持ってもらえること認識しており、既に猫碑見学ツアーが企画されるなど観光資源としての取り組みが始まり、国外に情報発信したところ個人観光客も来町している。

猫碑のある町としての優位性を活かし、国内外に効果的な宣伝をしていく。



# 金山工場団地造成計画は

## 町長 速やかに進める



いたばし  
板橋  
いさむ  
勇 議員

工場団地適地調査から6年目を迎えた。議会に具体的な場所が示されて5年になるがどうなっているのか。

**問①**平成30年11月に地権者に買収単価が提示されたが、その後具体的な買収等の行動が取られているのか。

**答①**売買契約等は今年の米の収穫後冬以降と申し上げてきた。地質調査や測量設計の土地立ち入りにもご了解頂いている。都合により欠席者には、電話等で説明している。現在は地質調査と測量設計を概ね完了し、団地造成に係る設計案の検討を進めている。売買契約

の際に再度設計の概要や農地転用等の説明をしたいと考えている。

**問②**令和3年4月に造成地の販売が出来るのか。

**答②**3回開催した事業説明会で説明してきたが、土地売買契約や事業実施に関する開発行為、農地転用等の手続にある程度時間が必要で、また、現地が軟弱地盤のため時間がかかるが速やかに進めていきたい。

**問③**5年も経過している場所に進出企業があるのか。

**答③**現在本町に進出したいと希望する複数の企業と交渉を行っているが、具体的な企業名は相手があることから差し控える。

**問④**平成28年6月に工業団地予定地の変更の陳情書を早急に具体化する事も現在の造成工事に好影響を与えると考えている。町長の任期中に行うことを明言できないか。

**答④**現在のエリアを完成後早急に取り組みたい。

**問⑤**高齢者運転免許証自主返納支援は、各地区の議会懇談会で1万円分の回数券1回限りでは不十分だとの

不満の意見が出された。2万円分に増額し期間も3年間に延長すべきと提案する。**答⑤**一定期間経過後に成果や課題を検証する際の参考にする。



今年も稲作が行われた金山工場団地造成予定地

# 地域商社で地方創生を

## 町長 町も協力して取り組む

**問①** 地域商社であるGM7はこれまで、本町のブランド米「いざ初陣」の商品化や、コンセプトショップの運営、さらにはジェラートや、生タピオカ店のオープンなど、各種事業をスピー

地方創生の実現のためには、攻めのビジネスを進め、地域の「稼ぐ力」を高めていくことが重要である。そこで、チャレンジできる地域商社が、産業活性化事業等を推進し、関係人口の創出、延いては移住につながる取り組みが大切になってくる。

この観点から町長に問う。



人気のタピオカドリンクに並ぶ観光客（どっと堂）

**問③** 今後、地域商社を核として、農業や観光産業などの「稼ぐ事業」をどう展開していくのか。

**答③** 地域商社事業、農業生産事業、観光事業が相乗効果を生み出し、地域活性化が図られるよう、町も協力して取り組んでいく。



ふなやま しゅんいち  
船山 俊一 議員

ド感を持って展開してきた。このGM7の事業運営を、町はどう評価し、今後どのような支援をしていくのか。

**答①** これまでの商品開発や、販売促進活動の実績を評価するとともに、新しいビジネスモデルを展開すること

で、町民の所得向上や、地域活性化につながるもの大いに期待している。今後は、GM7の安定的な収益の確保、自立した経営に向け、町内農業者との連携調整や、農業生産法人設立への支援をしていく。

**問②** 地域商社の事業展開により、若者などの関係人口の創出につながっているが、町は関係人口の拡大を目指し、GM7とどのような取り組みを進めていくのか。

**答②** GM7との連携により、魅力的な商品開発の継続や、精力的な広告宣伝、ふるさと納税制度を始めとした、販売チャンネルの開拓等を進め、本町の特産品購入者や、来訪者の拡大を図って、応援していただける関係人口の創出に努めていく。



# 働き方改革について

## 町長 適切に取り組む



さとう よしいち  
佐藤 吉市 議員

**問①**数年前から民間企業を中心として、従来の働き方を見直そうという動きが本格化した中であって、昨年6月に働き方改革関連法案が成立し、企業規模や業種を問わず本年4月1日から施行された。

学校の働き方改革は、毎日子どもたちの前に立って未来につながる力を育む教育を行うために必要とされ、授業やその準備をはじめとした先生にしかできない教育活動に全力投球してもらうため、学校・家庭・地域が教育目標を共有し、それぞれができるかを考え、連携・分担することが重要

であるという内容のようである。

地域ではそういう気持ちでこれまでも学校に協力して来ていると思うが、今後、学校における働き方改革の推進を進めていくのか教育長に問う。

**答①**教育長 学校の働き方改革は喫緊の課題であると認識しており、本年4月に「丸森町小中学校教職員の勤務時間及び部活動に関する基本方針」を校長会で徹底するよう指導している。

学校・保護者や地域がさらに連携を深め、教員が児童生徒と向き合う時間がしっかりと確保されるよう取り組み。

**問②**本町でも働き方改革への取り組みが急務となると思うが、町職員への対応を考えていく必要がある。町長の所信を問う。

**答②**町長 職員の健康保持や人材確保の観点等から長時間労働を是正すべき必要が

あるので、「職員の勤務時間・休憩等に関する条例」を改正する予定である。限られた職員数や勤務時間の

中、職員の働き方改革を実現するためには、町民の理解と協力が必要である。



今日も遅くなるようです（大内小学校）

# 原動力づくり進めよ

## 町長 計画の本旨を貫く

**問①** 平成31年3月末の人口は13565人で、平成27年3月末から4年で、1160人減少しているが、減少要因はどのようなことか。また、これまでの人を増やす方策は、もう効果が現れにくいのではないか。

今年度、町では平成26年度に策定した、第五次丸森町総合計画の、後期基本計画と、2期目の丸森町まちひと・しごと創生総合戦略の令和2年度から6年度までの策定を行うにあたり、これまでの5年分の現状把握と検証を行うとしている。計画見直しについて問う。



町の支援を受けながら規模拡大中の和牛繁殖事業（大張地区）

**問③** 角田市は、創生総合戦略の関連事業で約12億円、白石市でも約20億円の事業を実施したが本町はGM7設立が主な事業だった。町の次期創生総合戦略では、地域経済の原動力づくり・拠点づくりに、町は財政出動も図って、積極的に取り組む考えはあるか。

**答③** GM7の本格活動が期待されるほか、旧羽出庭分校の活用、あぶくま荘の改修等の検討を行い、しごとをつくり、町への人の流れをつくるよう進めたい。



おおつき 大槻  
まさよし 正儀 議員

**答①** 就職や入学で町を去る人、高齢で亡くなる方が多く、毎年290人位の減少が続いて、高齢化が進んでいるが、20代から40代の割合は維持されている。これまでの方策に加え、新たな手立てを検討する。

**問②** 町内8地区の地区別計画は、総合計画や創生総合戦略と連携したものでなければ、協働のまちづくりは現状が限界と思うかどうか。また、各地区で開催された「わいわい懇談会」での意見には、行政は積極的に

関わるべきではないか。

**答②** 地区別計画と町の計画の関連性や、それぞれの計画の在り方については、住民自治組織と検討する。わいわい懇談会の結果は総合計画の参考とする。



# あったかなまちづくり

## 町長 転出抑制策を検討中



いちじょう  
一 條

おさむ  
己 議員

**問①** 町ではホームページなどで「ヘルプ丸森」として町外に向けて若者移住定推進の取り組みをしているが、町内に住む若者には、働き掛けをしているか。

NHK連続テレビ小説「なつぞら」が始まってから、草刈正雄さん、松嶋菜々子さん、広瀬すずさん等の酪農作業の印象が良かったのか、「酪農家はいいね」とよく言われる。

また、本町のモーモーまつりなどでみる酪農家族も、幸せそうでカッコイイ。そのような後継者も多い酪農家だが、悩みは休日が少ないことである。

町内に住む自営業者の若者定住については、身近な悩みを解決するのが良いと考える。

町内に住む若者に定住を促す、新たな対策はあるか問う。

**答①** 本町では大学進学や就職を契機とする町外転出が最も多い。

県南地区の高校生を対象にした町内企業ガイダンスの開催や、働く場の確保に取り組んでいる。

また、新たな取り組みとして、令和2年度からの後期総合計画策定の中で、若者世代の転出抑制に向けた事業を検討させている。

**問②** 町内に住む若者が定住できるように、若者が望むような宅地を造成して、安価に提供してはどうか。

**答②** 館矢間、丸森地区では生活の利便性などから新築住宅が増えている。

また、同地区では、平成30年度、個人所有宅地の売買7区画、民間分譲宅地の

売買6区画があった。

そのほか現在、民間業者による宅地造成が20区画ほど計画されているので、若

者世代には、土地取得加算などのしあわせ丸森暮らし応援事業補助金で支援をしていく。



民間分譲宅地に新築された住宅（館矢間地区）

# 委員会活動レポート

議会には、3つの常任委員会（総務民生・産建教育・議会広報）があります。  
今回は、総務民生常任委員会・産建教育常任委員会が行った様々な活動から、視察について報告します。

## 総務民生常任委員会



総務民生常任委員長 庄司 一郎

7/1~2

## 視察調査

(山形県真室川町／秋田県横手市)

### 廃校跡地利用と建造物保存

真室川町では、廃校した中学校の跡地を地元製材会社が製材工場として活用していました。

校庭は製材工場、体育館は木質チップボイラー乾燥施設等、施設を無駄なく活用するとともに、従業員は地元優先で採用し、農作業に合わせて早出勤を認め農地を守る対策等も行っていました。

横手市増田町では、伝統的建造物保存に対する住人の熱意が伝わりました。両市町の振興策はとても参考になりました。

## 産建教育常任委員会



産建教育常任委員長 宮本 昭雄

8/6~7

## 視察調査

(茨城県日立市／常陸大宮市)

### 国民宿舎の運営と特産品開発

日立市では、県立公園内に位置する県立国民宿舎「鵜の岬」の視察を行い、利用率の高さや集客の工夫等を学びました。

利用者本位の考えや地域との関わりを大事にしてきた運営に感心しました。常陸大宮市では、「道の駅 常陸大宮」の視察を行い、西洋野菜栽培や摘み取り体験事業等を通じて市民の施設としての認知を高めることに工夫されていました。

本町も両施設の取り組みを多に参考として地域活性化策につなげて参ります。



# 常任委員会で所管事務調査を行いました。

# 役場の仕事を 千エツク!



## 総務民生常任委員会

### 総務課

- ・ 自主防災組織の組織、活動、支援状況

### 企画財政課

- ・ 平成29年度財務報告書
- ・ 平成29年度施策評価結果

### 子育て定住推進課

- ・ 放課後児童健全育成事業の運営状況

- ・ 移住、定住に向けた空き家の登録数と入居状況

### 保健福祉課

- ・ 各種検診の受診率の現状と今後の取り組み
- ・ 健康寿命の延伸に向けた事業展開と成果

### 町民税務課

- ・ 平成30年度における町税等収納状況と今後の収納対策

### 丸森病院

- ・ 訪問診療の現状と今後
- ・ 医師、職員の勤務実態



調査を終了し意見を取りまとめ中の委員会

## 産建教育常任委員会

### 農林課

- ・ 子牛育成センターの進捗と運営計画
- ・ 現地調査（子牛育成センター）
- ・ 肥育実証事業の展開
- ・ 現地調査（町営放牧場）

### 教育委員会学校教育課

- ・ エアコン設置事業の進捗と運用実態
- ・ 小学校大規模改修計画と年次推進
- ・ 現地調査（丸森小学校）

### 商工観光課

- ・ 観光施設サウンディング型市場調査と新たな観光振興事業
- ・ 工場団地造成事業の進捗

### 建設課

- ・ 平成30年度社会資本整備交付金事業等の実績と以降推進計画
- ・ 道路整備計画の評価（中間）



建設中の子牛育成センター（町放牧場内）



## 丸森に自信と誇りを持って

丸森地区

伊藤 淳さん

Q いつから丸森人ですか

A 学生時代4年間丸森を離れましたが生まれてからずっと丸森人です。

Q 未来の丸森にかける想いはどんなことですか。

A 全国的な課題は丸森町の課題でもあります。

その状況をただ憂えているのか、何かコトを起こすのかでは全く状況が異なると思います。

都市に行かなくても丸森町から世界に打って出ることには十分可能です。将来を担う若い世代の皆さんが「丸森町で働くことが恰好いい」と思ってもらえるような仕事を創出し、人口増加に転じる町になってほしい。

Q 町民の皆さんに伝えたいことはど

んなことですか。

A 誰かが何かをしてくれるのを待つのではなく、自分は何をできるかを考えて、実行できる人が増えていくことが変化のチャンスだと思います。私の場合、インバウンド観光による地域経済の活性化推進でした。

大切なのは覚悟を持って道を歩むことです。

「ないからあきらめるか、ないならつくるか」

多くの皆さんに、丸森町には素晴らしい資源がたくさんあり、可能性に満ち溢れていると言う現実に気づいて欲しいです。

自分の故郷に自信と誇りを持ってと伝えたい。

(二條功委員)

## 4年間を振り返って

委員長 板橋 勇

議会広報常任委員として4年間6名同じメンバーで編集できたことを嬉しく思います。

今年7月に全国議会広報研修会に参加した後、議会広報全国コンクールで2年連続最優秀賞に輝いた埼玉県寄居町で研修しました。3連覇を目指し、議会広報委員は勿論の事、議員全員が編集委員と感じました。丸森町の議会だよりは入賞は逃しましたが、確実にレベルアップしています。今後に期待して下さい。

## お見舞い申し上げます

この度、台風19号の被害でお亡くなりになられた方々に、衷心よりお悔やみ申し上げます。また、被害に遭われた皆様には、心からお見舞い申し上げます。丸森町は災害に強い町という思いがありました。が、一夜にして無残な姿となり、とても残念な姿でせん。復興に向けて全力で対応していますが、まだまだ時間が掛かります。住民の皆様には健康に留意され、頑張っていただけだと思います。

議会でも、一日も早く以前の暮らしを取り戻せるよう、努力して参りますので、御協力をお願い致します。(菊池修一議長)



## 議会広報常任委員会

委員長	板橋 勇
副委員長	船山 俊一
委員	鈴木美智子
	大槻 正儀
	小野 勝朗
	一 條 功